2026/9/18 発行

令和８年９月号（No.275）

発行責任者
公益社団法人隊友会 神奈川県隊友会
湘南支部長 中尾 剛久
茅ヶ崎市赤羽根 2661 - 26
Tel：090-4897-4074

国民と自衛隊との架け橋！

隊友 湘南支部ニュース

「北部九州所在部隊の状況について（その一）」

湘南支部長 中尾 剛久

今年の夏は七月二十八日の「令和八年熊本地震」、八月十三日の「令和八年八月千葉豪雨」と立て続けに大きな災害が発生しました。いずれも復旧の途上であり、終わりの見えない避難生活を送っている方々もいらっしゃいます。また、酷暑の中、災害派遣活動に従事している自衛隊の各部隊の隊員たちや、ボランティアとして支援活動に参加されている方々には、改めて心からの敬意と感謝の意を表したいと思います。

さて、九月四日には支部として久しぶりになる本格的な部隊研修を海上自衛隊厚木基地で実施することができました。大学生をはじめとして予定を超える参加者がありましたが、部隊側の積極的なご支援のおかげで、非常に実りある研修ができました。やはり部隊を訪問しての研修は得難い機会であると思いました。少し前になりますが、六月に九州北部の陸・海・空自衛隊の部隊を訪問する機会がありました。今回から数回に分けてその状況について報告し、会員の皆さまと現在の自衛隊の現状について共有したいと思います。

今回訪問したのは、陸上自衛隊福岡駐屯地（第四師団司令部）、佐賀駐屯地（輸送航空隊）、航空自衛隊春日基地（西部航空方面隊司令部）、航空自衛隊背振山分屯基地（第43警戒隊）、海上自衛隊佐世保地方総監部、水陸両用戦機雷戦群（輸送艦「くにさき」）の各部隊でした。

福岡駐屯地では第四師団長のほか、九州防衛局長及び福岡地方協力本部長の話を伺いました。第四師団長からは、師団としての特別な役割としてアグレッサー（対抗部隊模擬）としての機能を有しているとの話がありました。当初は西部方面隊の中での位置づけだったところ、現在は陸上自衛隊全体のアグレッサーとしても活動しているとのことでした。装備品の展示ではスキャンイーグルなどの UAV の説明や小型ドローンの実際の運用状況の展示もありました。ドローン操縦員は特別の課程等を履修しているわけではなく、自隊での養成のみ（ある意味では見様見真似での習得）とのことでしたが、日頃からゲーム機操作などに慣れている若い隊員にとっては、それほど苦になるものでもないとのことでした。我々研修者（おじさん）にはとても無理なことだと思いました。昨年北部方面隊の第二師団を訪問した折に、要員確保・募集の困難性ということが強調されていたため、第四師団の状況は如何に？という質問がありましたが、九州においては現段階では北海道程の深刻さはないようでした。

九州防衛局長の説明では、馬毛島での大規模な基地造成工事や九州各地における弾薬庫等の増設事業が進捗中であることから施設整備事業関連の業務で大変忙しい状況が続いているとのことでした。

これに加え、九州管内の演習場を使用した米国海兵隊が参加する日米共同訓練が、令和元年の３回から令和七年には１１回を数えるなど、年々増加していることから地元対応の機会が各段に増加していることも業務繁忙化に拍車がかかっている原因との説明でした。大変忙しい状況のようですが、「全国の防衛局の中でも、現在最も忙しい防衛局と自負しているが、やりがいも感じている。」と話していました。

令和８年度部隊研修 厚木航空部隊

支部理事役 高鹿 治雄

湘南支部は、部隊研修を令和８年９月４日（金）に実施した。当日は生憎の雨模様であったが、４０名を超える会員等が参加した。

当日午後１時半、相鉄線相模大塚駅に集合した会員等は、海自の大型バスで基地内に入り、基地滑走路東側にある厚木航空基地の殉職隊員慰霊碑に献花を行った。その後、再び大型バスで西側ターミナルに基地内見学をしながら移動して、群会議室において鷲澤第４航空群首席幕僚から概要説明を受けた。海軍厚木航空基地創設から現在に至るまでの詳細な説明に会員は熱心に聞き入っていた。更に厚木航空基地の航空機が日本周辺の監視活動や災害発生時の救難活動、そして海外ジブチ基地での海賊対処活動まで世界中で活躍していると説明されると、日本の自衛隊が日本の平和のみならず世界の平和にも大きく貢献していることに驚きの声が上がった。



殉職隊員慰霊碑へ献花

その後、徒歩で第３航空隊の格納庫に移動して、最初にブリーフィングルームで純国産哨戒機Ｐ－１が、日本の最高技術を結集した戦後初の国産哨戒機であり、特に潜水艦を発見して追尾・攻撃する優れた対潜能力と対潜訓練について説明を受けると「本当に攻撃するのですか？」と率直な質問があり、「実際に攻撃することはありません。」という若い参加者と自衛官との真剣な質疑応答は、本研修の貴重な成果と実感した。

その後、哨戒機Ｐ－１を見学して集合写真撮影を行い、次に徒歩で第６１航空隊の格納庫に移動してＣ１３０－Ｒ等を見学した。それぞれの航空機を運用するクルーからリアルな説明を受けた参加者から多数の質問が飛び出したが、隊員の懇切丁寧な対応に和やかな内にも貴重な体験ができたと大好評だった。



P-1 の前で集合写真

編集委員：深澤文晴 ,℡: 090-4542-1982, Mail: f_fukazawa@yahoo.co.jp

「最新鋭の純国産航空機をこんな近くで見ることができて感激です。」「純国産Ｐ－１を目の当たりにして自衛隊を改めて誇りに思います。」などと本研修に参加できた喜びを興奮気味に語る参加者も多かった。

見学後はターミナルに戻り、厚木航空基地資料館の展示品をゆっくり見て、厚木海軍基地の伝統を感じると共に、現在は世界で活躍する自衛隊や自衛官に接して、海軍の良き伝統は確実に海上自衛隊に継承されていることが良く理解できた。


Ｐ-1 の見学

午後５時過ぎから米海軍クラブ・トリロジーホールで懇親会が行われ、部隊側から鈴木第４航空群司令、鷲澤第４航空群首席幕僚、酒井第５１航空隊司令、加藤第３航空隊司令、大菅第６１航空隊司令、勘米良第４整備補給隊司令、壽福厚木航空基地隊司令等多数の参加が得られた。始めに中尾支部長の挨拶、来賓を代表して鈴木第４航空群司令からご挨拶を頂き、続いて今回現役大学生を多数引率してくれた「次世代外交研究所　代表幹事　岩淵美智子氏」の挨拶や大学生等の紹介後、酒井第５１航空隊司令の乾杯の音頭により歓談に移った。懇親会では最近の海上自衛隊の活動や各種のエピソードなどの話題に花が咲くとともに、初めて厚木基地を訪れた一般参加者も和やかに、自衛隊指揮官や会員との交流の輪は笑いが絶えなかった。初めて参加した自衛隊ファンや自衛隊志望の若者たちが厚木指揮官と記念写真を撮る光景も多く見られ、「普段絶対見ることができないものを見せてもらって、また普段滅多に会えない自衛隊の偉い人たちに会えて感激しました。」と嬉しそうな参加者の姿に勇気付けられた。今回は懇親会において会員以外の若い参加者などから初めて自衛隊の部隊を研修した感想を発表してもらいました。参加指揮官たちからも初めて聞く新鮮な視点からの感想に大いに励まされると好評であった。最後に髙橋元事務局長の中締めでは参加者全員による万歳三唱で盛会のうちに懇親会は終了した。


次世代外交研究所　岩淵美智子氏

本部隊研修に際して、多大なるご支援を頂いた関係各部隊には心から感謝申し上げます。

名所旧跡探勝ハイキングのお知らせ(予告)

支部理事役　西村　剛

令和８年１１月１４日㈯、１１時～１６時、ＪＲ両国駅近くの、リニューアルした「江戸東京博物館」、歴史ある「墨田区立　旧安田庭園」、国宝に指定の品々を展示の「刀剣博物館」、詳細は支部ニュース１０月号にて。

安全保障トークサロンのお知らせ

支部理事役　荻原　洋聡

1. 日時：令和８年１０月３日㈯
１４：００～１７：３０
（受付１３：３０）
2. 会場：藤沢商工会議所「ミナパーク」３階３０３・３０２会議室
3. 安全保障トークサロン
１４：００～１５：３０（３０３）
⑴講師　及び　演題
内藤　裕之　氏（６０分）
「ＰＦＩ事業におけるＰＦＩ船舶の運用について」
（ＰＲＩ事業の概要とＰＦＩ船舶の事業内容・実績）
⑵意見交換：参会者からの質問に対する講師の回答を主体
4. 懇親会
（講師を囲んでの意見交換会）
１６：００～１７：３０（３０２）
5. その他

⑴参加会費は無料です。懇親会の参加費は５，０００円を受付で徴収します。
⑵当日、体調不良、発熱等がある方は、参加のご辞退をお願いします。
⑶会場等の準備の都合もありますので、出欠返信用はがき、又は電話・E-mail 等で９月２５日㈮必着にて、出欠可否の返信をお願いします。
⑷なお、会場の収容制限から、先着４５名で締め切らさせていただきますのでご了承ください。
⑸ご不明な点がございましたら、左記にお問い合わせ下さい。

連絡先：安全保障トークサロン担当
・荻原　洋聡（おぎはら・ようそう）
・電話：090-5793-5641
・E-mail：yousou-ogi@hotmail.co.jp

「第４８回　神奈川自衛隊音楽まつり　２０２７」への協賛のお願い

令和９年度に陸海空自衛隊に入隊、防衛大学校等各種学校に入校予定の皆さんを激励する「第４８回　神奈川自衛隊音楽まつり２０２７」への協賛のお願いの時期となりました。今回の音楽まつりは、令和９年３月７日㈰、横須賀芸術劇場で開催されます。

つきましては湘南支部として例年通り協賛による支援を行いたいと思いますので会員各位のご協力をお願い致します。

なお、協賛のお願い文書、振込用紙は別途郵送にて全支部会員へご連絡致します。募集難の折重ねてご協力をお願い致します。

支部長　中尾剛久

支部会員による２０２７第４８回神奈川自衛隊音楽まつり協賛

湘南支部長（八月二十三日現在）

松澤弘海、（敬称略）

支部会員の訃報
謹んでご冥福をお祈り致します

正会員　故　塩川　儒廣　氏
令和８年８月１３日　ご逝去

湘南支部ニュースは、神奈川県隊友会のホームページにも掲載されています。
URL：https://www.taiyukanagawa.com/

「支部の予定」

- **09/26（土）**
第５回支部理事役会
- **10/03（土）**
安全保障トークサロン
- **10/23（金）**
10月号隊友紙発送
- **10/31（土）**
第６回支部理事役会
- **11/14（土）**
名所旧跡探勝
- **11/20（金）**
11月号隊友紙発送
- **12/11（金）**
広報官慰労・激励会

編集後記

今後とも各種ジャンルに亘る、ご寄稿のご協力を宜しくお願い致します。

編集委員：深澤文晴　,℡:　090-4542-1982,　Mail:　f_fukazawa@yahoo.co.jp